広報
さめがわ
昭和56年
8月号
No. 332
編集兼発行
鮫川村役場
協町佐藤印刷所

ふるさとの文化の歩みを一堂に…

歴史民俗資料館開館す



かねて図書部の業務を初めていた鮫川村歴史民俗資料館は、7月23日開館の運びとなりました。

これは村の重要文化財展と県展の移動展をあわせて開催するためこの日どりになったわけです。

村の重要文化財展では、縄文期の土器や石器の数々が展示され、古代中世近代を代表する、これまで村人の目にふれることのなかった貴重な文化遺産も展示されて、人気を呼びました。

殊に、富田薬師如来立像や渡瀬区秘蔵の君萬歳友成の銘刀などには多くの観客の眼が吸いつけられ、会場は混雑を極めました。

県の移動展の作品も大作で優れた作品揃いで、観る人々の心に大きな感動をよび起しました。

- ⊙ 7月21日～8月20日　夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動
- ⊙ 9月1日　防災の日
- ⊙ 9月1日～30日　健康増進普及運動

今月の人口

（8月1日現在）		前月比
人口	5,579	（＋5）
男	2,784	（＋2）
女	2,795	（＋3）
世帯	1,138	（　0）





歴史民俗資料館の開館式は、山村開発センター大集会室で行われ、テープカットは資料館玄関で福島県知事代理窪尾勲さんを迎えて実施されました。

県南地方の町村では初めてつくられた施設なので、隣接町村はもとより県外からも参観者があり、郷土文化に寄せる人々の関心の深さを示しています。



東西白河地区の税務担当職員で組織している税務協議会の地方税部会は、7月24日鮫川村山村開発センターで総会を開催して当面の諸案件を審議しました。

この席に地元村長として出席した石田村長は24年間全村完納を続けている鮫川村納税組合の活動と実績について紹介し、参会者に感銘を与えました。

閉会後一同は鹿角平乾草供給センター牧場などを視察して散会しました。

村政のあゆみ (28)

国土の均衡ある発展と臨調

村長　石田卯子八

臨時行政調査会の第一次答申は七月一〇日に鈴木内閣総理大臣に提出され、中央地方を通じて大きな論議をよんでおります。

この答申は、行政改革本来の基本的方策を打ち出したものではなく、「増税なき財政再建」を主題とした当面の財政対策の手法に重点が向けられているようであります。

従って国家財政の歳出削減を目標として、一番手をつけ易い補助金の削減を初め、国民健康保険の国庫負担の一部を都道府県に負担させること、年金恩給等の負担率の引下げ、社会福祉費、児童手当等の見直し、保育所幼稚園の保護者負担の引上げなどに至るまで広汎にわたる具体的方策を掲げております。

行政改革も財政再建も現下の我国にとって緊急且つ積極的に取り組まなければならない重要課題であることは、誰しも理解するところでありますが、この重大な意義をもつ外科手術が、弱者へのしわよせ、地方自治体への負担の転嫁に終ってならないことは当然であります。

これは単なる総論賛成、各論反対の論議だけで解決する筈のものではなく、国民的合意のため十分の論議をつくし、英知をあつめて実効ある改革が行われることが必要であり、それぞれの立場で協力と努力が望まれるのであります。

わが村にとってもゼロシーリングでおさえられる予算に加えての臨調方策の実施になることは、重大な関心事であります。

殊に公共事業の抑制、地域特例措置の停止、農業基盤整備事業の見直し、各種農業助成の整理統合などで、現に実施中の諸事業に重大な影響のくることが憂慮されるのであります。

わが村は過疎、山村、辺地など地域特例の措置によって、他地域との較差を縮め、均衡ある発展への途上にあるわけですから、この制度の停止乃至廃止は国土の均衡ある発展を目指した国策の後退的転換であって、国政の信頼性を問われる問題であります。

われわれは組織を通じ、国民の声を盛り上げて国政の進路に誤りなきを期するため、最善の努力をつくすべきであります。

心配ごと相談

8月20日（木）
午前10時より
山村開発センター

今月の納税

村県民税（第二期分）
国民健康保険税（第三期分）
納期限　八月二五日

おめでた

七月

草木　芳賀亜希子　父芳賀文男
戸草　三瓶ゆかり　父三瓶稔
青生野　平久江直美　父平久江和男
巡ケ作　宗田和恵　父宗田雅之
名下　須藤絵美　父須藤光明
大竹　岡部千鶴　父岡部憲司
鍬木田　栗原康弘　父栗原順一
茅　白坂幸子　父白坂利幸
二本田　湯座香織　父湯座正

おくやみ

七月

	年令	世帯主
道少田	湯座ノブ	62歳湯座克昌
岩野草	松崎ツミ	84歳松崎甲子男
青生野	山形寿枝	0歳山形久男
前折戸	霜田昭宏	27歳霜田ヨシ

市町村別交通事故防止コンクール　Cグループ（人口1万人未満町村）50町村中第50位

農業委員会委員無投票当選

さる七月一七日執行された鮫川村農業委員会委員一般選挙で、次の一二名の方々が無投票で当選されました。農業委員の任期は三年で、選任委員五名と合せ一七名で農業委員会が構成されます。

【一般選挙による委員】

▽藤田好幸▽我妻嘉市▽国井鬼子治▽大河内平▽鈴木好美▽溝井末吉▽石井清重郎▽水野成男▽水戸啓▽前田正孝▽佐藤庄市▽岡部文雄

【選任による委員】

▽大竹茂（議会）▽金沢一良（議会）▽坂本行正（議会）▽須藤英一（農協）▽遠藤幹雄（共済）





新しい農業委員会の初総会は村長招集で７月24日に開かれ、会長に須藤英一さんが再選され、職務代理者に国井鬼子治さん、農地小委員長に水野成男さん、振興小委員長に鈴木好美さんがそれぞれ選任されました。

技術の向上をめざし炎天下の大活躍

ポンプ車の部は第一分団
小型ポンプの部は第五分団が優勝

村主催の消防操法競技会は七月一二日、午前九時から村民運動場で行われました。

操法競技会にはポンプ車の部三チーム、小型ポンプの部七チームが参加し、選手五〇余名と各分団の幹部が参加しました。

統監の石田村長、審査長の関根消防団長のあいさつの後、審査班長の棚倉消防署鮫川分署長から競技上の注意があり競技に入りました。

操法動作の正確さと規律、スピードを競った結果は次のとおりでした。

【ポンプ車の部】

優勝　第一分団
須藤宏、溝井昭次、大河内由夫、円井浩明、鈴木優、湯坐良政

第二位　第四分団

【小型ポンプの部】

優勝　第五分団
鈴木正孝、石井照也、本郷喜美、芳賀芳雄、芳賀逸義

第二位　第七分団

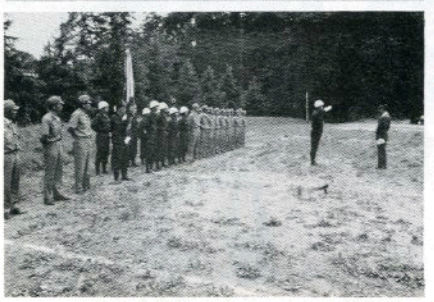
なお、両種目の優勝チームは七月二五日、白河市、南湖グランドで行われた福島県消防操法競技白河地方大会に村代表として出場しました。

消防操法競技
白河地方大会
小型ポンプの部で準優勝

七月二五日白河市の南湖グランドで第五回県消防操法競技白河地方大会が開催され、村代表のポンプ車の部に第一分団、小型ポンプの部に第五分団が出場しました。結果はポンプ車の部では惜しくも入賞を逸しましたが、小型ポンプの部で堂々準優勝を果しました。







県消防操法競技白河地方大会で村を代表して出場した第五分団小型ポンプの部は堂々準優勝を獲得して、その機敏な動作と元気旺盛な態度を賞賛され、第一分団ポンプ車の部も立派な成績をおさめました。

写真上は第五分団（東野）中は第一分団（中野）の見事な活躍ぶりです。

下は競技会終了後、報償を伝達されて石田村長から祝福のあいさつを受ける選手一同と団幹部。

村内の交通事故（７月31日現在）発生10件・死亡２人・負傷者10人

子供たちの水泳技術を グンと上達させた実技講習

今年は児童を対象に各学校単位に水泳の講習会が開催されました。このため子供達の上達ぶりはすばらしく、できれば年2回くらい開催してほしいと先生方から要望がでたほどです。

学校教育課では、昨年から教育課程に加えられたバスケットボールについても、講師を招き学校毎に実技指導の講習会を開催するよう計画しております。

このたび水泳指導に招へいした講師は

矢祭中　稲垣　知安先生
高城小　古市　貫一郎先生
表郷小　面川　晴美先生

でした。



青生野小学校で開かれた水泳実技講習会のひとコマ

よかった水泳実技講習会

青生野小学校
教諭　大竹　実

校長先生が「今日の水泳教室が楽しかったと思う人」と聞くと、「ハーイ」と一年生から六年生までの全員が手をあげた。

さらに「ためになったと思う人」

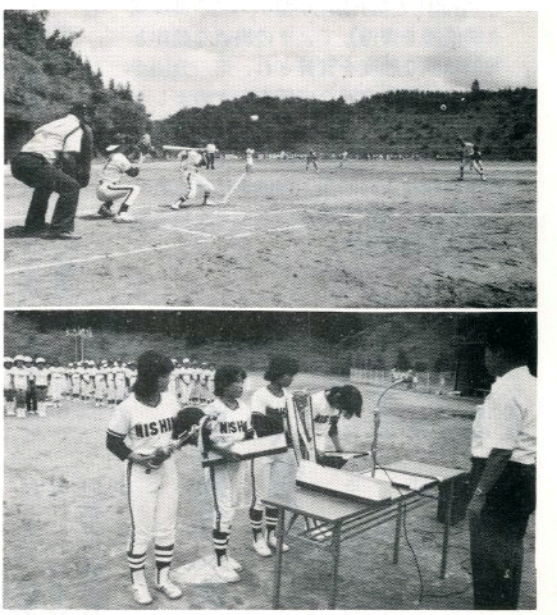
「ハーイ」

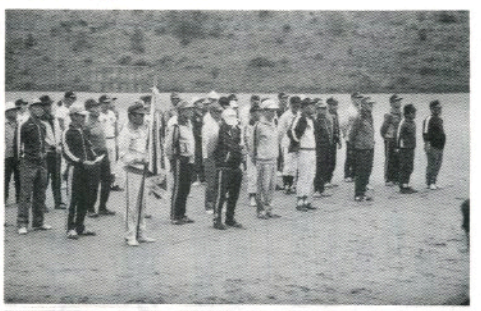
とこれまた全員が挙手、そして数日後「先生また古市先生が来て教えてくれないかな、来るようにいってよ」と児童にせがまれた。

以上が七月一五日に青生野小学校で行なわれた水泳実技講習会後の児童たちの感想である。

「かなづちさんさようなら」ということはどうすればいいか、どんな方法をとればいいか、そのポイントはどこにあるかということは、児童はもちろん教師にとっても実に有意義でありました。

今まで25mプールの半分も泳げなかった子がスイスイと泳げるようになり、おかげで8月26日棚倉町の町民プールで行なわれる郡内小学校水泳大会に出場できるようになり夏空のもと児童らは連日練習にはげんでおります。







体育協会主催の壮年ＯＢソフトボール大会は、7月5日村民運動場で7チーム参加の上開かれました。参加者の皆さんは現在の盛んな社会体育を初め且つ育てた方々です。

さすがに規律正しく、元気一杯立派なプレーを展開されました。

夏休み中の少年少女の心身の健全育成を目ざして、少年少女球技大会が7月24日村民運動場で盛大に催されました。

村内全小学校が参加し、炎天の下で熱戦がくりひろげられ、若き日の思い出多い一日となりました。

今年は国際障害者年です









国際障害者年を記念する鮫川村の身障者体育レクリエーション大会は、7月11日快晴の天気に恵まれ、村民運動場でたのしくにぎやかに行われました。

先づ鮫川小学校児童鼓笛隊の演奏で気分を盛り上げて開会式が行われ、石田村長から完全参加と平等を指標に頑張って下さいと挨拶があり、参加者を代表して鈴木輝男さんが力強く宣誓しました。

競技はビン釣り、輪投げなど興味深いもので、和気あいあいのうちに終り、民踊クラブ員の演ずる花笠音頭、八木節、佐渡おけさなどを鑑賞してたのしい一日をすごしました。

9月1日は防災の日

正しい知識で的確な判断を

九月一日は「防災の日」です。大正一二年九月一日の関東大震災にちなんで昭和三五年に設けられ、災害についての認識を深め、常にその心構えを怠ることなく、いざという時に備えようというものです。

お宅の地震対策は大丈夫ですか。

地震がきたら心得10か条

日本は、環太平洋地震帯に位置し、世界でも有数の地震国です。大きな地震が起きてもあわてず、生命身体の安全を図るため、地震の心得10か条を知っておきましょう。

- ○ まずわが身の安全を図る
- ○ すばやく火の始末
- ○ 火がでたらまず消火
- ○ あわてて戸外に飛び出さない
- ○ 狭い路地、へいぎわ、がけや川べりに近寄らない
- ○ 山崩れ、がけ崩れに注意
- ○ 避難は徒歩で持ち物は最小限に
- ○ 協力し合って応急救護
- ○ 正しい情報をつかみ、余震を恐れない
- ○ 秩序を守り、衛生に注意

台風シーズン備えて

日本列島は、八月、九月に台風の通過が多く、毎年各地で尊い人命までも犠牲となっています。近づく水害期に備えて次の事を心がけましょう。

一、非常用品を備えておきましょう。懐中電灯、トランジスターラジオ、非常用食品及び飲料水、応急医薬品、ビニール袋等をまとめ、すぐ持ち出せるようにしておきましょう。

一、自分の住んでいる地域の特性をよく知り、地理的にどんな災害があるかみんなで話し合い、いざという場合の避難場所、避難経路を確認しておきましょう。

一、家屋など古くなって危険な個所の修理、堀や下水路等の詰った場所は清掃しましょう。

地震ひとくちメモ

マグニチュードと震度は違います

昭和五三年に起こった宮城県沖地震を例にとりますと、震源のマグニチュードが七・四で、震度は被害の一番大きかった仙台で五、東京では四となっています。

これをみてもおわかりのとおり、マグニチュードと震度は違うものです。

マグニチュードとは、地震の大小を示す単位で、震度は、揺れをあらわす単位なのです。この両者の関係は、電球のワット数と明るさによく似ています。

たとえば、一〇〇ワットの電球をつけたとします。当然、その真下が最も明るく、電球から離れるにつれて暗くなっていきます。この場合、電球のワット数（一〇〇ワット）がマグニチュードで、場所によって異なる明るさが震度に相当します。

これを宮城県沖地震にあてはめますと、マグニチュード七・四がワット数で、震源に近かった仙台では明るく（揺れが激しく）、より離れた東京では少し暗くなった（揺れが少なかった）と考えればよいでしょう。

国民年金受給額がアップされます

このたび、国民年金法の一部が改正になり、国民年金の受給額が次のようにアップされます。

拠出年金については7月分から（9月期分支払いから）、福祉年金等については8月分から（12月期分支払いから）アップされます。

【拠出年金】

◇老令年金
▽五年年金
二七一、二〇〇円から
二九二、四〇〇円へ
▽一〇年年金
三一八、六〇〇円から
三四三、五〇〇円へ

◇障害年金
▽一級障害
六二七、〇〇〇円から
六七五、九〇〇円へ
▽二級障害
五〇一、六〇〇円から
五四〇、七〇〇円へ

◇母子年金、遺児年金
五〇一、六〇〇円から
五四〇、七〇〇円へ
※母子加算された場合
六八一、六〇〇円から
七二〇、七〇〇円へ

【福祉年金】

◇老令福祉年金
二七〇、〇〇〇円から
二八八、〇〇〇円へ
（二七六、〇〇〇円へ）

◇障害福祉年金
▽一級障害
四〇五、六〇〇円から
四三二、〇〇〇円へ
▽二級障害
二七〇、〇〇〇円から
二八八、〇〇〇円へ

◇児童扶養手当
三五一、六〇〇円から
三七四、四〇〇円へ

◇特別児童扶養手当
障害福祉年金と同額アップ

◇福祉手当
一一一、〇〇〇円から
一二〇、〇〇〇円へ

ナンバーの一斉更新実施

現在、村に登録されているバイクや耕耘機等に取付けてある登録標識（ナンバー）を一斉更新することになりました。

八月二八日から九月一一日まで、村内五五会場で行います。日程表は、後日各戸に配布します。

交通安全対策に篤志の寄附

このたび、西山字発地岡の関根キチさんは役場を訪れ、交通安全対策に役立て下さいと二万円を寄附されました。

このお金は、昨年拾得物として警察署に届けていたものが、この度期限切れになったもので、関根さんは「私も昭和五〇年に交通事故にあい苦労しましたので、今後の交通安全対策に役立て下さい」と寄付されたものです。

ふるさとの川をきれいに!!





ふるさとの川をきれいに、流れの水を清らかに…と願いをこめた村民の河川クリーン作戦は毎年行われていますが、今年は7月5日に全戸総出の清掃作業が実施されました。またこれより1日早く役場職員全員による強滝地内の清掃が行われました。

ゴミを川に棄てる悪習は是非追放しましょうね。



青生野小学校に新しい体育館が建築されます。これまで僻地集会室が講堂兼用に使用されてきましたが、このたび電源立地促進対策交付金をうけて、本格的な屋内運動場が新築されることになり、7月25日起工式が行われました。

構造は鉄筋鉄骨造り497平方mで、工事は渡辺産業株式会社が45,100千円で本体工事を落札契約しました。これに電気工事、特殊基礎工事、附帯工事があるので、総工事費は、52,980千円の予定です。



商工業者の皆さんが多年念願していた商工会館が、国や村の補助をうけて建築されることになり、7月28日地鎮祭と起工式が行われました。

場所は中野駐在所の隣り、元診療所跡で新宿地内目抜きのところです。

ゴミの収集日　（8月～9月）

収集コース	種別	収集曜日	8月	9月
江竜田～上耕地～木之根～中山～田尻～二反田～反田～彦次郎～前沼～広畑～新宿～湯ノ田コース	可燃物	毎週月・木曜日	3，6，10，13，17，20，24，27，31日	3，7，10，14，17，21，24，28日
	不燃物	隔週月曜日	10，24日	7，21日
新宿（新宿橋より）～道少田～官ノ入～大塩コース	可燃物	毎週火・木曜日	4，6，11，13，18，20，25，27日	1，3，8，10，17，22，24，29日
	不燃物	隔週月曜日	10，24日	7，21日
真坂～茅～酒垂～宝木～水口～官沢コース	不燃物	隔週水曜日	5，19日	2，16，30日
越虫～青生野～戸草～藤の草～官代～遠ケ竜～中沢コース	不燃物	隔週火曜日	4，18日	1，29日
石井草～前田～鬼越～戸倉～倉田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	毎月第一金曜日	7日	4日

※ 休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※ ゴミは、収集日の朝に出して下さい。